

2013年 8月 9日(金曜日)

幼稚園から高校まで、多くの人が参加した。訓練が行われた学校現場で、このほど「アナフィラキシー」について理解を深めようとしている。

訓練が行われた市内の対応の理解や緊急時の対策を狙い、病院救急センターに登録された東京・渋谷のNHKセンターで、普段は朗らかに振る舞う鈴木さんの表情が陥しくなった。

「（共同）乳製品などの食物アレルギーが全身に激しい症状を引き起こす『アナフィラキシー』について理解を深めようとしている。

訓練は、基礎知識や子どもが発症した際の対処法を学んだ。同症状は、昨年1月に東京都調布市の病院で、女性が給食の誤食で死亡したことを受け、正しい説明や急救の対策を狙って、正しく理解され、参加者は実物を手に取り組んだ。

鈴木は、医長の関義元さんが講師を務め、アナフィラキシーの反応に特徴的な症状を説明。救命意識喪失などの症状を助ける補助治療剤「エビペン」の効果と使い方を指導している。

エビペンは、アナフィラキシーの補助医療剤「エビペン」の使い方を学ぶ参加者

教職員ら対処法学ぶ

しょくひん
きょうしきん
がこう
たいじょ
ほう
かう
しゆん
だいじ
やす
向むけ大事おほい安くおいかしく

向むけ大事おほい安くおいかしく

しゅん
だいじ
やす

【共同】NHK・Eテレの「きょうの料理」のスタッフに、「ばあば」と親しまれている講師が

料理教室を開く鈴木さんによると、番組出演は若い世代を中心に敬遠される

今も東京都内の自宅で料理だけではなく、配膳や

い世代を中心に敬遠される

がちな和食文化を伝える

大切な場だ。

「おばんちゃん」と本番を直前に控えた東京・渋谷のN

HKセンター放送がある

「おばんちゃん」と本番を直前に控えた東京・渋谷のN

HKセンター放送がある

かにぎや！」

滋賀で中国北部の銅劍鋳型

国内初、騎馬民族の短剣?

「なぜ近江に」深まる謎



〔共同〕中国の華北や内モンゴルに分布したオルドス式銅劍の特徴を持つ双環柄頭短劍の鋳型が国内で初めて滋賀県高島市の上御殿遺跡で出土し、県文化財保護協会が8月6日発表した。弥生中期～古墳時代前期(紀元前350～紀元後300年ごろ)のものとみられる。九州などで出土している細形銅劍は、中国の遼寧式銅劍がモデルで、朝鮮半島を通じて伝わった。オルドス式は朝鮮半島にも出土例はなく、中国から日本海ルートで伝わった可能性があり、青銅器流入の見直しを迫る発見となりそうだ。

鋳型に彫られた短剣は

春秋戦国時代(紀元前770～同221年)の

オルドス式と似た特徴が

ある。同協会によると、

上御殿遺跡は、日本海ま

で約3キロと近いこと

から、九州を経由せず、

日本海を通じて大陸と交

換する。

出土した鋳型の石材は

九州や朝鮮半島の

石材と異なり、オルドス

式にあるつばも無かつた

ことから同協会は「近畿

の青銅器職人がオルドス

式を参考に製造した可

能性がある」としている。

この数年、米国のミサ

ント企業を使つた関連物

資の回輸入や技術者ら

への接近を図る従来型の

技術が、宇宙開発に

集中的に狙われている実

態も判明した。放射線によ

り不可欠で、核兵器や

弾道ミサイルへの応用も

可能という。

国防保安局が先月まと

めた報告書によると、東

アジア・太平洋地域から

ないが、宇宙開発を

報告件数や国名には触れ

ていなかった。

米国防総省国防保安局

が防衛産業からの報告を

集計・分析した。同局は

それが過去3年間で約

15倍に増えており、国

防保安局は「(軍事技術

に対する)スパイ活動が

より間接的で発覚しにく

た。

アジア・太平洋地域から

の報告書によると、東

アジア・太平洋地域から

